

請 願 番 号	請 願 第 7 号	件 名	PFAS汚染から市民を守るための請願
受理年月日	令 和 6 年 1 1 月 2 2 日	請願代表者 住所・氏名	各務原市蘇原月丘町3-26-11 PFAS汚染からいのちの水を守る各務原 市民の会 代表 今尾 明美
付託委員会	建 設 水 道 常 任 委 員 会	紹 介 議 員	永治明子、波多野こうめ

(請願趣旨)

昨年7月末、三井水源地のPFAS（有機フッ素化合物）汚染問題が発覚し、三井水源地の水道水を利用してきた市民は大きな不安に陥りました。昨年10月、京都大学原田浩二准教授と岐阜民医連の協力で行われた131名の血液検査の結果PFAS血中濃度が米国アカデミーの規制値20ng/mLを超える人が7割以上もいるという深刻な事態が明らかになりました。

近年PFASの毒性の人体に及ぼす影響（脂質異常症、低体重出生児、腎臓がんのリスク上昇等）が詳らかになり、欧米諸国ではPFAS規制を強めています。米国やデンマークでは規制値を一桁にし、事実上「ゼロ」を目指しています。体内に蓄積し続けるPFASです。もうこれ以上取り込まないというのがPFAS対策の要です。

しかし、日本の暫定目標値50ng/Lという規制は余りにも緩く遅れています。三井水源地PFAS値は10台～20台ng/Lで推移しています。市民は自己防衛策として浄水器の設置や様々な水の購入で凌いでいますが、その経済的負担はとても大きいものがあります。すべての市民は安心して飲める水道水を供給される権利を持っています。それにも関わらず市民自らPFAS対策しなければならないのは不公平です。家庭用浄水器の維持負担、水購入に対し市に補助を求めます。

自分のPFAS血中濃度を知りたい、血液検査を受けたいという市民の要望があります。PFAS血液検査は現在保険不適用で一回の血液検査に7～8万円ほどの実費負担となり、事実上検査は受けられません。このような中、東京民主医療機関連合会（東京民医連）がPFAS血中濃度分析装置を導入、1万2千円ほどで検査できるようになりました。それでもまだ1万2千円は、市民にとって高額です。市民が血液検査を公費で受けられるよう市に求めます。

因みに、岡山県吉備中央町は希望者全員の血液検査を無料で行っています。千葉県鎌ケ谷市ではPFAS血液検査に上限3万円の助成金を出しています。

(請願項目)

1. PFAS 汚染の原因を究明し市民に知らせることを求めます。
2. PFAS 対策の家庭用浄水器、水購入の維持負担に対し、市に補助を求めます。
3. 市民が血液検査を公費で受けられるよう市に求めます。

請 願 番 号	請 願 第 8 号	件 名	小中学校給食費無償化を求める請願
受理年月日	令 和 6 年 1 1 月 2 2 日	請願代表者 住所・氏名	各務原市上中屋町4-73 新日本婦人の会各務原支部 支部長 河田 文代（1391名署名）
付託委員会	経 済 教 育 常 任 委 員 会	紹 介 議 員	永治明子、波多野こうめ

（請願趣旨）

憲法26条には「義務教育は、これを無償とする」とされていながら、学校給食費や教材など実際には様々な負担があります。

学校給食の無償化はすべての子どもが安心して義務教育を受ける権利を保障するために実施すべきであり、無償化は子どもの権利保障と考えます。

学校給食は健康で文化的な生活を送り、望ましい食生活の基礎・基本を養い、感謝の心や伝統的な食文化の理解を深める大切な機会です。

昨今の度重なる物価高騰で生活苦を抱える家庭も多く、子どもの貧困が増え、年間給食費5～6万円を超える金額は保護者にとって大きな負担になっています。

岐阜県では、岐南町、揖斐川町、垂井町、池田町、山県市で無償化され、神戸市は中学校のみ無償化されるようになりました。全国では約3割の自治体で無償化がすすみ、何らかの対策で無償化に近づけている自治体を合わせると約4割の自治体が給食の無償化をすすめています。

学校給食無償化に要する予算は一般会計の1.1%です。各務原市の将来を担う子どもたちのために税金が有効に使われることを求めます。

（請願項目）

1. 小中学校の給食費を無償にしてください。